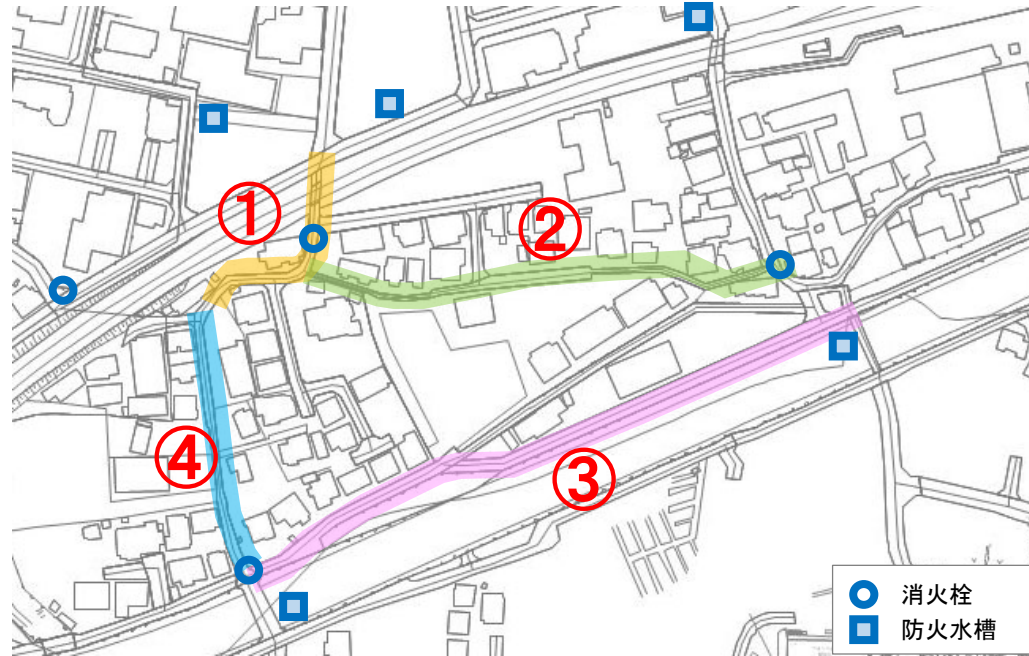


西側エリア街歩き結果

6月27日(土)
参加者12名



■街の将来像について

- 緑の多い地域なのでその特色を活かした街の開発であってほしい。異常気象が続く中で、自然を残していくことはこれから大変大切になってくる。
- 西側エリアは住宅街であるため、大きな変化は必要ないと思う。
- 2号踏切の幅を広げなければ。道路の幅を広げても混雑が増すだけだと思う。
- 道の幅員を十分とり、健常者と歩行不自由な方々もゆったりと歩ける道を確認すべし。
- 1号踏切、2号踏切と道路は6mでつなげるべきである。緊急用自動車が通りながら車のすれ違いもできる。
- 道路は基本的には6mを望む！
- 下水道整備、防災上必要なものの整備のための、必要最低限の道路拡幅で良いのではないか。
- 6m道路は実現までに相当な時間を要すると思う。基本4mが良いと思います。
- 旧鶴見川は現在利用されていないが、緑の歩道にして交流の場が設けられると良いと思う。
- 1号踏切側は必要であれば開発してはどうか。
- 静かな街並みを残す方向が望まれます。静かな住宅を希望します。
- 利便性だけでなく、将来的に何が大切なのかを市の方でもしっかり考えて開発を行ってほしい。

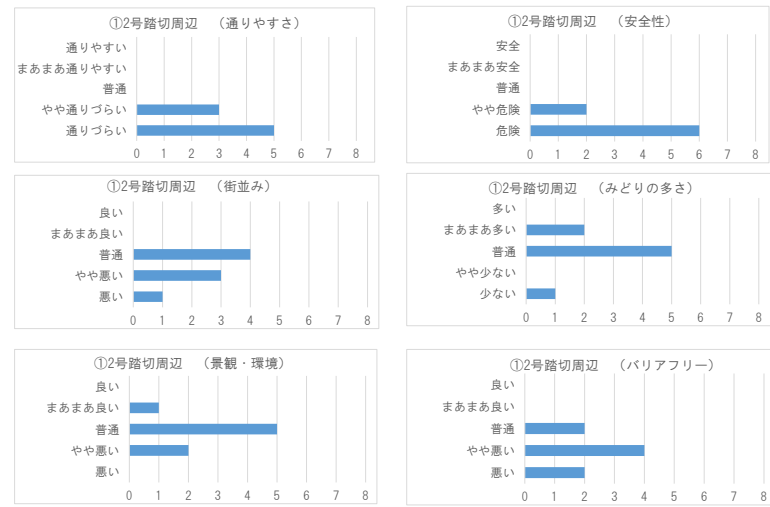
■あったらよいと思うもの

- 北側に大きな公園がないため、南側には必要だと思います。イベントなどができればよい。
- 河川沿いにカフェがあったほうが一息つける拠点となる。
- この規模の区画ならば、大きい公園の一つでも作ればよいと考えられる。
- 川沿いのフェンス脇に緑が欲しい。
- 川に降りられる場所を設け、キレイにし、水と触れ合えるようにして欲しい。

■その他

- 駅前には電柱が多い。共同溝としながら景観を良くすべき。
- 緑地については公の緑地でなく、民地にある緑を頼っている(河川を除く)。
- 曲がりが多く、危険度が高い。
- 幅員が狭く、水はけが良くないと感じる。

①2号踏切周辺道路



○幅員の確認

- ・ やや3mに近い幅で、車一台通るといっばいになる。
- ・ 踏切が閉まっていると渋滞する。

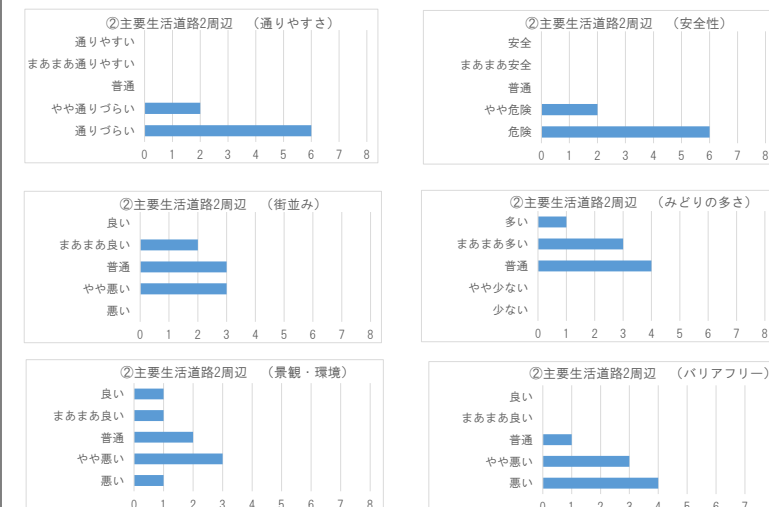
○通行の安全性

- ・ 車が通る時は、避けて待っていないといけない。
- ・ 自転車やベビーカーなどは避けるのに大変そうだ。
- ・ 湾曲しているので見通しは悪いようだ。

○周辺の環境や街並み

- ・ 緑は多いほうである。
- ・ ブロック塀の安全性はどうなのか。道路が狭いので車がよくこすっている。

②主要生活道路2周辺道路



○幅員の確認

- ・ 一番狭いところは1.2m、広いところは4mである。
- ・ 人一人通るのがやっとである。
- ・ 雨の日は傘をさすため、すれ違う時に不便である。

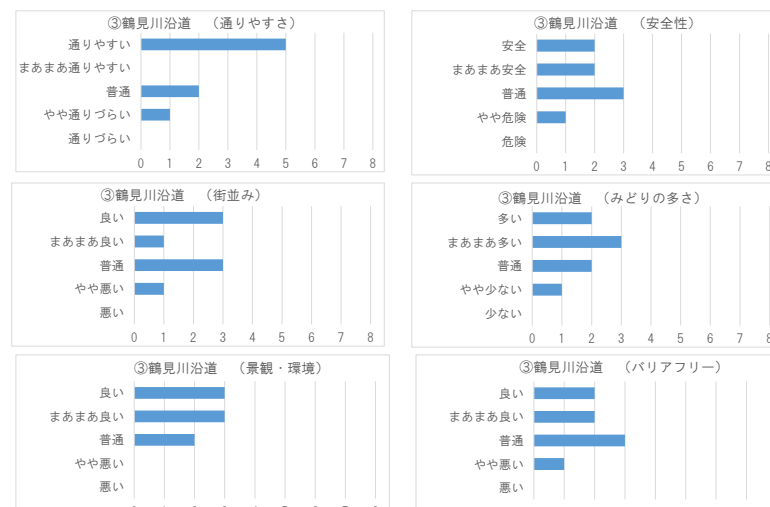
○通行の安全性

- ・ 緊急車両は通行不可である。
- ・ 市管轄の土地の雑草が歩行空間を邪魔している。
- ・ 曲がっている上に道幅が狭いので、見通しはかなり悪い。

○周辺の環境や街並み

- ・ 緑は多いが、手入れされていない箇所も多い

③鶴見川沿道



○幅員の確認

- ・ ほぼ4m以上ある
- ・ 歩行には問題ない。

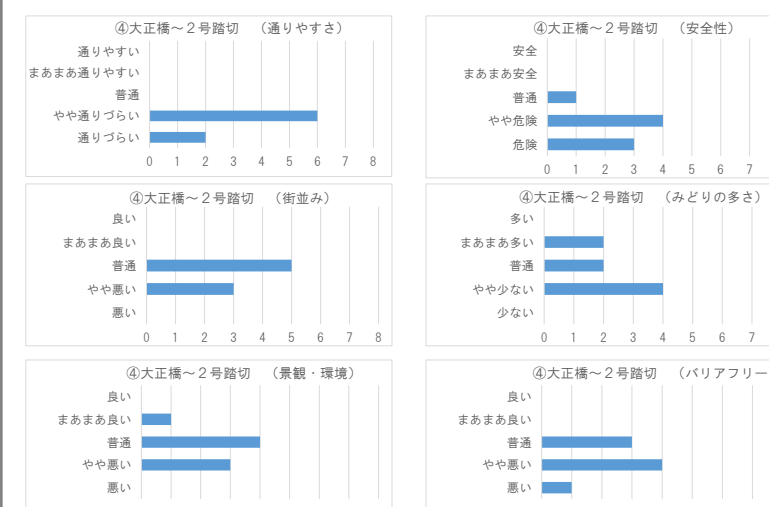
○通行の安全性

- ・ 車両も途中までしか進入できないので、歩行は安全。
- ・ 自転車と歩行者が入り混じっているので、危険な場面も多々ある。

○周辺の環境や街並み

- ・ 宅地の緑は多いほうである。

④大正橋～2号踏切



○幅員の確認

- ・ 4mの箇所と3mに満たない箇所がある
- ・ 車のすれ違いは難しい。

○通行の安全性

- ・ 車両が相互通行のため、車両の退避場所が必要。
- ・ 車両通行時、歩行者の退避場所が必要。
- ・ 見通しが悪いので、安全性に問題がある。
- ・ 車両、歩行者、自転車と通行量はかなり多い。

○周辺の環境や街並み

- ・ 新しい住宅が多く建つ場所のため、幅員もある程度確保され全体的に統一感はある。